平成24年9月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成24年5月10日

上場会社名　株式会社 日本マイクロニクス　　上場取引所　大
コード番号　6871　URL　http://www.mjc.co.jp
代表者　(役職名) 代表取締役社長　(氏名) 長谷川　正義
問合せ先責任者 (役職名) 専務取締役企画管理本部長　(氏名) 藤崎　直子　TEL 0422-21-2665
四半期報告書提出予定日　平成24年5月11日
配当支払開始予定日　—
四半期決算補足説明資料作成の有無　:　無
四半期決算説明会開催の有無　:　有　(機関投資家・アナリスト・報道関係者向け)

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年9月期第2四半期の連結業績(平成23年10月1日～平成24年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)　(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年9月期第2四半期	12,909	△6.7	△960	—	△973	—	△1,121	—
23年9月期第2四半期	13,843	42.4	580	—	522	—	375	—

(注)包括利益　24年9月期第2四半期　△1,184百万円　(—%)　23年9月期第2四半期　793百万円　(—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年9月期第2四半期	△59.08	—
23年9月期第2四半期	19.27	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
24年9月期第2四半期	34,501	15,868	43.8	795.38
23年9月期	35,563	17,232	46.5	870.06

(参考) 自己資本　24年9月期第2四半期　15,105百万円　23年9月期　16,523百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年9月期	—	0.00	—	10.00	10.00
24年9月期	—	0.00			
24年9月期(予想)			—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無　:　有
(注)配当予想の修正につきましては、本日(平成24年5月10日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

3. 平成24年9月期の連結業績予想(平成23年10月1日～平成24年9月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	24,000	17.4	△1,960	—	△2,050	—	—	—	—

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無　:　有
(注)業績予想の修正につきましては、本日(平成24年5月10日)公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

4. その他

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動） : 無
新規 ―社 （社名） 、 除外 ―社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示
① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	24年9月期2Q	20,012,658 株	23年9月期	20,012,658 株
② 期末自己株式数	24年9月期2Q	1,021,592 株	23年9月期	1,021,592 株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	24年9月期2Q	18,991,066 株	23年9月期2Q	19,491,135 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了しておりません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 2「（3）連結業績予想に関する定性的情報」をご参照下さい。

○添付資料の目次

１．当四半期決算に関する定性的情報 …… 2
（１）連結経営成績に関する定性的情報 …… 2
（２）連結財政状態に関する定性的情報 …… 2
（３）連結業績予想に関する定性的情報 …… 2
２．サマリー情報（その他）に関する事項 …… 3
（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動 …… 3
（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 …… 3
（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示 …… 3
３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要 …… 3
４．四半期連結財務諸表 …… 4
（１）四半期連結貸借対照表 …… 4
（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書 …… 6
四半期連結損益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 6
四半期連結包括利益計算書
第２四半期連結累計期間 …… 7
（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書 …… 8
（４）継続企業の前提に関する注記 …… 9
（５）セグメント情報等 …… 9
（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記 …… 9

１．当四半期決算に関する定性的情報

（１）連結経営成績に関する定性的情報

当第２四半期連結累計期間における半導体市場は、タイ洪水によるサプライチェーンの停滞や欧米先進国の需要の弱さ、中国の経済成長の鈍化等があり、例年の季節変動にはない低調な推移となりました。

また、２月末には主要顧客であるＤＲＡＭメーカーの経営破たんもあり、当社グループにとって、厳しい事業環境となりました。

一方、ＦＰＤ市場でも、ほぼ全てのパネルメーカーの業績不振が表すように、より厳しい環境となりました。市場の主体である大型液晶パネルの需給は根本的に改善せず、生産調整及び設備投資の抑制が継続いたしました。

このような状況の下、当社グループは受注の獲得、売上の拡大、新技術や新製品の開発に精力的に取組み、生産の効率化や部材調達の見直し等による原価低減も継続して推し進めましたが、開発案件や新規製品にともなう費用の増加やＦＰＤ機器事業の受注・売上高水準の低下の影響は大きく、損失を計上することとなりました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高12,909百万円（前年同期比6.7%減）、営業損失960百万円（前年同期は580百万円の営業利益）、経常損失973百万円（前年同期は522百万円の経常利益）、四半期純損失1,121百万円（前年同期は375百万円の四半期純利益）となりました。この業績を真摯に受け止め、昨年10月より実施しております取締役、執行役員及び上級管理職に対する報酬の減額措置を本年４月よりさらに拡大し、取締役の削減率を最大50%まで引き上げるとともに、減額対象者の範囲を広げております。

セグメントごとの業績は次のとおりであります。

① 半導体機器事業

プローブカードは、期初、高水準の前期末受注残高を背景に売上高を伸ばしましたが、デバイスメーカーの生産調整開始とともに需要は減少し、年明け以降は、市場環境や主要顧客であるメーカーの経営破たん等から、特にＤＲＡＭ量産向けの需要が縮小し、受注・売上が低迷いたしました。

営業利益に関しては、プローブカードの開発品増加により、売上総利益が低下、研究開発費やサービス費の増加もあり、低調となりました。

この結果、売上高は10,620百万円（前年同期比1.4%増）、営業利益は273百万円（前年同期比72.1%減）となりました。

② ＦＰＤ機器事業

ＬＣＤ検査装置及びプローブユニットは、パネルメーカーの生産調整が継続し、設備投資の抑制も一段と厳しくなったことから、受注・売上ともに低迷いたしました。太陽電池検査装置においても、業界環境は一層厳しくなり、設備投資案件が軒並み中止や延期となったことから、受注・売上ともに振るいませんでした。

営業損失に関しては、リペア装置や中小型パネル向け新規プローバ等新製品が売上の中心となったことから、設計・製造工数の増加による売上総利益率の低下、サービス費の増加による販管費の増加をまねき、国内生産拠点の集約による固定費削減等を実施したものの、固定費負担を吸収しきれず、損失の計上となりました。

この結果、売上高は2,289百万円（前年同期比32.0%減）、営業損失は481百万円（前年同期は337百万円の営業利益）となりました。

（２）連結財政状態に関する定性的情報

（資産）

当第２四半期連結累計期間における資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,062百万円減少し、34,501百万円となりました。これは主に、受取手形及び売掛金の減少1,614百万円、現金及び預金の増加863百万円、たな卸資産の減少299百万円等によるものであります。

（負債）

負債合計は、前連結会計年度末に比べ302百万円増加し、18,633百万円となりました。これは主に、支払手形及び買掛金の減少1,959百万円、短期借入金と長期借入金を合わせた純借入額の増加1,511百万円等によるものであります。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べ1,364百万円減少し、15,868百万円となりました。これは主に、四半期純損失の計上による利益剰余金の減少1,311百万円等によるものであります。

（３）連結業績予想に関する定性的情報

平成24年２月８日付けで公表しました平成24年９月期の業績予想及び配当予想を修正いたしました。詳細につきましては、本日（平成24年５月10日）公表いたしました「業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ」をご参照下さい。

２．サマリー情報（その他）に関する事項

（１）当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

（２）四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

（３）会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

３．継続企業の前提に関する重要事象等の概要

該当事項はありません。

４．四半期連結財務諸表

（１）四半期連結貸借対照表

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年９月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年３月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	8,379	9,242
受取手形及び売掛金	10,347	8,733
製品	330	394
仕掛品	2,368	1,883
原材料及び貯蔵品	527	649
その他	461	457
貸倒引当金	△74	△57
流動資産合計	22,340	21,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	4,795	4,621
機械装置及び運搬具（純額）	2,480	2,376
その他（純額）	2,725	2,973
有形固定資産合計	10,001	9,970
無形固定資産	1,111	1,062
投資その他の資産		
投資有価証券	1,800	1,789
その他	526	599
貸倒引当金	△217	△225
投資その他の資産合計	2,109	2,163
固定資産合計	13,222	13,196
資産合計	35,563	34,501
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	6,946	4,987
短期借入金	3,093	4,321
未払法人税等	269	77
賞与引当金	432	379
製品保証引当金	359	220
その他	1,553	2,686
流動負債合計	12,655	12,673
固定負債		
社債	210	180
長期借入金	3,618	3,901
退職給付引当金	1,101	1,233
長期未払金	194	137
その他	551	506
固定負債合計	5,675	5,959
負債合計	18,330	18,633

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (平成23年９月30日)	当第２四半期連結会計期間 (平成24年３月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	5,018	5,018
資本剰余金	5,769	5,769
利益剰余金	6,497	5,185
自己株式	△953	△953
株主資本合計	16,332	15,020
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	686	739
為替換算調整勘定	△495	△654
その他の包括利益累計額合計	190	84
新株予約権	134	175
少数株主持分	574	587
純資産合計	17,232	15,868
負債純資産合計	35,563	34,501

（２）四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
（四半期連結損益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)
売上高	13,843	12,909
売上原価	9,699	9,913
売上総利益	4,144	2,996
販売費及び一般管理費	3,563	3,956
営業利益又は営業損失（△）	580	△960
営業外収益		
受取利息	8	12
受取配当金	3	3
受取賃貸料	16	17
為替差益	―	19
その他	28	16
営業外収益合計	56	69
営業外費用		
支払利息	54	49
訴訟関連費用	8	11
支払保証料	1	21
為替差損	40	―
その他	9	1
営業外費用合計	114	82
経常利益又は経常損失（△）	522	△973
特別利益		
固定資産売却益	1	0
貸倒引当金戻入額	198	―
その他	2	0
特別利益合計	203	0
特別損失		
固定資産除却損	7	4
ゴルフ会員権評価損	―	12
資産除去債務会計基準の適用に伴う影響額	9	―
その他	1	0
特別損失合計	18	17
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	706	△990
法人税、住民税及び事業税	68	45
法人税等調整額	218	11
法人税等合計	286	56
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	420	△1,047
少数株主利益	44	74
四半期純利益又は四半期純損失（△）	375	△1,121

（四半期連結包括利益計算書）
（第２四半期連結累計期間）

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株主損益調整前四半期純損失（△）	420	△1,047
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	393	53
繰延ヘッジ損益	△1	－
為替換算調整勘定	△18	△190
その他の包括利益合計	373	△137
四半期包括利益	793	△1,184
（内訳）		
親会社株主に係る四半期包括利益	757	△1,228
少数株主に係る四半期包括利益	36	43

（３）四半期連結キャッシュ・フロー計算書

（単位：百万円）

	前第２四半期連結累計期間 (自　平成22年10月１日 至　平成23年３月31日)	当第２四半期連結累計期間 (自　平成23年10月１日 至　平成24年３月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失（△）	706	△990
減価償却費	911	900
退職給付引当金の増減額（△は減少）	149	134
賞与引当金の増減額（△は減少）	194	△51
製品保証引当金の増減額（△は減少）	△22	△135
貸倒引当金の増減額（△は減少）	△222	△8
受取利息及び受取配当金	△11	△15
支払利息	54	49
売上債権の増減額（△は増加）	290	1,520
たな卸資産の増減額（△は増加）	△525	252
仕入債務の増減額（△は減少）	250	△1,745
前受金の増減額（△は減少）	180	45
その他	804	1,173
小計	2,761	1,126
利息及び配当金の受取額	11	17
利息の支払額	△53	△48
法人税等の支払額	△52	△267
法人税等の還付額	16	2
その他の支出	△24	△122
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,659	707
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△78	△559
定期預金の払戻による収入	21	472
有形固定資産の取得による支出	△247	△875
有形固定資産の売却による収入	36	10
投資有価証券の取得による支出	－	△9
その他の支出	△76	△62
その他の収入	173	22
投資活動によるキャッシュ・フロー	△170	△1,000
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	2,150	1,850
短期借入金の返済による支出	△1,605	△1,248
長期借入れによる収入	2,650	2,100
長期借入金の返済による支出	△925	△1,154
社債の償還による支出	△30	△30
設備関係割賦債務の返済による支出	△34	△58
自己株式の取得による支出	△0	－
配当金の支払額	△292	△189
少数株主への配当金の支払額	△2	△30
財務活動によるキャッシュ・フロー	1,910	1,237
現金及び現金同等物に係る換算差額	△28	△144
現金及び現金同等物の増減額（△は減少）	4,370	800
現金及び現金同等物の期首残高	4,632	7,348
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,003	8,148

（４）継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

（５）セグメント情報等
（セグメント情報）
Ⅰ　前第２四半期連結累計期間（自 平成22年10月１日　至 平成23年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１．	四半期連結損益計算書計上額（注）２．
	半導体機器事業	ＦＰＤ機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,478	3,365	13,843	－	13,843
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	10,478	3,365	13,843	－	13,843
セグメント利益	979	337	1,316	△736	580

（注）１．セグメント利益の調整額△736百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

Ⅱ　当第２四半期連結累計期間（自 平成23年10月１日　至 平成24年３月31日）
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

（単位：百万円）

	報告セグメント			調整額（注）１．	四半期連結損益計算書計上額（注）２．
	半導体機器事業	ＦＰＤ機器事業	計		
売上高					
外部顧客への売上高	10,620	2,289	12,909	－	12,909
セグメント間の内部売上高又は振替高	－	－	－	－	－
計	10,620	2,289	12,909	－	12,909
セグメント利益又は損失（△）	273	△481	△208	△752	△960

（注）１．セグメント利益又は損失の調整額△752百万円は全社費用であり、報告セグメントに帰属しない管理部門に係る費用であります。
２．セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

（６）株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。